

カトリック山口教会報

サビエルの鐘

クリスマス特別号



サンタとイエスの微妙な関係

片柳弘史(カトリック山口教会主任司祭)

クリスマスと言えば、トナカイのそりに乗ったサンタクロースが、世界中の子どもにプレゼントを届けに来てくれる日。わたしも子どもの頃、クリスマスの日にはツリーを飾り、家族みんなでケーキやチキンを食べて楽しい夜を過ごした後、「どんなプレゼントが届くだろう」と楽しみにしながら布団に入ったものです。

大人になってキリスト教の洗礼を受け、教会でクリスマスを祝うようになってびっくりしたのは、サンタクロースが出てこないことでした。主人公はイエス・キリストで、その誕生を祝うのがクリスマスだということです。「うーん、なんかあれだけれど、これがキリスト教のクリスマスなんだ」と思って、わたしは納得することになりました。クリスマスというのはもともとキリスト教でイエスの誕生を祝う日だったのだけれど、キリスト教徒でない人たちも楽しめるように、いまのようなクリスマスが祝われるようになったというのが実際のところのようで、わたしはどちらも素晴らしいクリスマスだと思っています。

ところで、サンタクロースに、モデルになった人がいることを知っていますか。サンタクロースは、もともと聖ニコラウスというトルコの司教さん(教会の神父たちのまとめ役)の伝説と北欧の神話が結びついて生まれたと言われています。聖ニコラウスはとてもやさしい人で、夜のあいだにこっそり貧しい人たちの家に行って、煙突から金貨を投げ込むことがあったと言われています。それが、サンタのプレゼントの始まりなのです。

聖ニコラウスだけでなく、わたしたちの心の中には、とてもやさしい気持ちが宿っています。「愛」と呼ばれることもあるそのやさしい気持ちこそ、イエス・キリストだとわたしは思っています。誰かの喜ぶ顔が見たいと思ってプレゼントを一生懸命に準備するとき、家族のためにおいしい御馳走を準備するとき、部屋をきれいに飾りつけるとき、わたしたちの心の中に宿っているやさしい気持ち、それがイエス・キリストなのです。今年も、たくさんの人の心にイエス・キリストが宿ることを、心から祈っています。メリー・クリスマス。



発行 カトリック山口教会
〒753-0089 山口市亀山4-1
tel. 083-920-1549 HP検索 カトリック山口教会

幼い私の思い出のクリスマス



片柳弘史 神父

日本 埼玉県出身

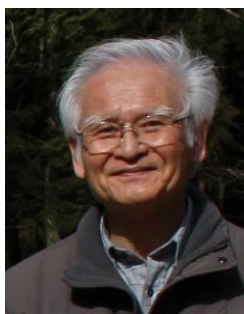
わたしの実家は昔からの農家で、キリスト教とはまったく関係がなかったので、クリスマスと言えばケーキやチキンを食べてたのしく過ごす日でした。そういえば、一度だけ小学校の友だちに連れられて教会のクリスマス会に行ったことがあります。おいしいお菓子をたくさんくれたので、「とてもやさしい人たちだな」と思ったのを覚えています。



ドメニコ・ヴィタリ 神父

イタリア出身

イエス様からのプレゼントを期待して待っていましたけれども、同じように、私はイエス様に何をプレゼントしようか、喜んでもらえるものは何かを考えていました。イエス様に恩返しできるように、「自分はもっとしっかりしよう」とか「真夜中のミサに、いつもは行かないけれど、今年は行こう」とか考えました。



外川直見 神父

日本 兵庫県出身

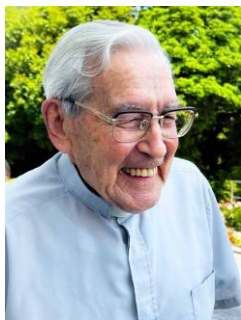
小学校3年で洗礼を受け、クリスマスの前夜、寝る時に母が準備してくれた靴下を前にサンタさんに何をもらおうか、と話していた覚えがあります。けれど翌朝、靴下の中に何を見つけたのか…覚えていません。サンタさんごめんなさい。



ゲン・ミン・トアン 神父

ベトナム出身

幼い頃のクリスマスで今も心に残るのは、何よりも「平穏」ということです。少し涼しいクリスマスの夜、ミサにあずかり、帰宅して家族で暖かい夕食を囲み、寝る前にクリスマスソングを聴きました。派手なことは何もなかったけれど、静かな喜びと家族のぬくもりに満ちた、あの穏やかな時間が、今も私のクリスマスの思い出です。



ルイス・カンガス 神父

スペイン出身

クリスマスシーズンになると街中に特別な巨大郵便ポストが現れます。子供たちは三人の博士に欲しいものを伝える手紙を書いてそのポストに出します。家では子供たちは自分の部屋の窓際に靴の一つを置きます。それはその部屋に誰がいるのかを三人の博士にわかってもらうためです。待ちに待った1月6日の朝、良い子にしていたら希望したプレゼントが！良い子ではなかったら炭が！ワタシが炭をもらったかはヒミツ！

(カンガス神父は上石神井のロヨラハウスに異動されました)

← カンガス神父のメッセージはこちらから



フィリピンのクリスマス

ロヘリオ ラコルテ ジュニア(カトリック山口教会)



フィリピンのクリスマスシーズンは世界で最も長いことで知られ、9月1日に始まり1月まで続きます。ホセ・マリ・チャン(フィリピンではミスター・クリスマスというあだ名がついた)の歌が、9月初日から電波、ジプニー、ショッピングモールを埋め尽くします。パロル(星型のランタン)やベレン(キリスト降誕の場面)など、フィリピンのクリスマスのシンボルは、シーズンを通して住宅街、ショッピングモール、公共スペースに飾られます。12月16日から始まり、シンバン・ガビと呼ばれる一連の夜明けのミサが12月24日まで開催され、午前3時半に教会の鐘が鳴り響きます。各ミサの後、参加者は教会の外の屋台で販売されているビビンカ(焼き餅)やプトゥブンボン(蒸した紫餅)などの伝統的なお菓子を楽しみます。早朝の大切な伝統です。フィリピンのクリスマスは家族中心のお祝いで、たいていは再会や温かい集まりになります。クリスマス・イブには、ハム、ケソ・デ・ボーラ、スパゲッティ、その他の伝統的なフィリピン料理を中心としたノーチェ・ブエナと呼ばれるごちそうに家族が集まります。贈り物はメインイベントです。子供たちは両親、親戚、名付け親から贈り物を受け取り、家族の絆が深まり、楽しいお祝いの時間になります。フィリピンのクリスマスシーズンは新年まで続き、家族連れが真夜中までのカウントダウンと大晦日のメディア・ノーチェと呼ばれる祝宴に集まります。この季節は正式には三人王の祝日で終わりますが、幼子イエスを讃える祝賀行事はビサヤ諸島で続いています。例としては、セブ島のシヌログフェスティバルやイロイロ市のディナギャンフェスティバルなどがあります。この国でのクリスマスの祝い方は年月とともに変化してきましたが、「きよしこの夜」の中心的なメッセージは変わっていません。それは、クリスマスは「希望、平和、喜び、そして愛の時であり、すべての人と分かち合うべきものである」ということです。

マリガヤンパスコ (Maligayang Pasko) ! (メリークリスマス!)

ドイツのクリスマス Weihnachten in Deutschland

飛車由紀子・来人(カトリック山口教会)



聖書のルカ2章8節、「その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた」によると、イエスは寒い季節ではなく、暖かな季節に生まれたように考えられるが、昔から12月25日に降誕を祝っている。

ヨーロッパ、特にドイツではクリスマスの頃、「冬祭」のような雰囲気があふれる。瀬戸内海に面した方の山口県とは違って、ドイツでは「冬は厳しい季節」という印象が強い。寒い上に、湿度が高く、嵐も多い。晴れた日より冷たい雨や雪が降る薄暗い日が多い。ドイツの多くの商店街は、歩行者天国になっている。11月中旬から、クリスマスのイルミネーションをつけ始め、待降節の間は、ふだん許されていない日曜日、店は営業許可を得る。

スリランカのクリスマス

イシャラ ペレラ（カトリック山口教会）

スリランカのキリスト教徒にとって、クリスマスシーズンは 12 月の第 1 週 頃に始まり、人々は家や店、通りを飾り始めます。通りは飾り付けられ、ショッピングセンターには大きなクリスマスツリーが飾られます。大企業ではクリスマスパーティーが開かれ、大きなホテルではクリスマスディナーダンスが行われます。我が家でも 12 月の第 1 週頃にクリスマスケーキを作ります。スリランカのクリスマスケーキは、たくさんのドライフルーツとナッツを刻んでゴールデンシロップとジャムと混ぜ、低温で長時間焼いたフルーツケーキです。家族と一緒にこれらのドライフルーツを刻んだのは、私の子供時代の素晴らしい思い出です。1 か月間、私たちは善行と小さな犠牲を払って、

イエスの赤ちゃん用のベビーシャツを作ります。完成したベビーシャツは、イエスの赤ちゃん像の近くの教会の馬小屋に保管されます。スリランカのキリスト教徒は通常、午後 11 時 30 分頃から始まる深夜のミサに行き、花火とクリスマスキャロルの歌で礼拝を終えます。クリスマスは家族が集まる季節です。プレゼントを贈り合い、クリスマスキャロルを歌い、家族でおいしいクリスマスランチを楽しみます。クリスマスの時期には家族がいなくて寂しくなりますが、日本の教会コミュニティの温かさと優しさは、いつも私の心に慰めと喜びをもたらしてくれます。



クリスマス、新年をサビエル記念聖堂で過ごしませんか



片柳神父のマリア・カフェ

開店日 12 月 6 日（土）10 時～

場所 山口サビエル記念聖堂ダミアンホール

参加費は無料。コーヒーとお菓子のサービスもあります。教会が初めてのかた、キリスト教徒でないかたも、お気軽にいらしてください。

クリスマス・コンサート

12 月 20 日（土） 15 時～（14 時 30 分 開場）

整理券は山口サビエル記念聖堂、またはカワイ山口ショップで

クリスマスイヴミサ

12 月 24 日（水）第 1 ミサ 18 時～

第 2 ミサ 20 時～

クリスマスミサ

12 月 25 日（木） 9 時 30 分～

新年のミサ

1 月 1 日（木）新年のミサ 11 時～

